



---

システム

取引マニュアル

# 目次

## パート 1

お取引を始める前に

01 デモ口座への登録方法

## パート 2

取扱商品概要

02 FX とは？

03 FX と外貨預金などとの違い

04 レバレッジと証拠金

07 スワップポイント

08 FX の取引例

09 FX の取引画面

10 CFD とは？

11 CFD と他の金融商品の違い

12 資金調達コストと配当

13 CFD の取引例

14 CFD の取引画面

16 バイナリーオプションとは？

## パート 3

取引システム概要

18 デフォルト画面

19 ポジション一覧画面

19 未決オーダー画面

取引状況一覧画面

19 口座残高画面

19 ウォッチリスト

20 ファインダ

20 ▽プルダウンメニュー

21 プライス最適化

## パート 4

取引操作方法

22 マーケット注文の出し方

23 ポジションの清算

23 リーブオーダーの発注方法

24 条件付注文(イフダン注文)

24 チャート直接取引

25 ストップ・リミットの付加

26 ギャランティーストップ

26 スリッページ回避方法

26 トレーリングストップの使い方

27 レバレッジ

27 保有ポジションにおける維持証拠金の軽減方法

27 保有ポジションの条件変更

28 両建て(ヘッジ)

28 スワップポイント

29 アラートの設定

## パート 5

取引画面のカスタマイズ

30 カスタマイズ設定

## パート 6

各種ツール

31 チャート

31 クイックチャート

32 ワンクリック取引

32 ニュース項目の検索

# お取引を始める前に

## 取

引システムは 革新的なブラウザ対応の取引システムです。  
ソフトウェアをダウンロードする必要はございません。お客様はお取引口座を開設するだけで、どのパソコンからでもお取引していただけます。

### 取引システムの特徴

- スピード約定
- プライス最適化機能 – お客様の取引実行時のプライスが、お客様に有利に動いた場合、そのプライスをお客様に提供いたします。
- ギャランティストップ(ストップ保証)– お客様のリスクを限定し、スリッページを防ぎます。\*スリッページは、11ページを参照
- レバレッジ – ストップ注文を付加することで、お客様の維持証拠金を劇的に軽減し、レバレッジを高く設定することができます。
- トレーリングストップ– リスクを限定しながらお客様の利益を確定します。
- マージンアラート – 取引の約定時に証拠金が不足して驚く必要もありません。
- モバイル取引 – 場所を選ばずにお取引ができます。
- チャート直接取引 – チャートからの高度な取引をお試し下さい。

## >> デモ口座への登録方法

システムをお試しになりたいお客様は、無料のデモ口座へ登録することができます。ご登録いただくと仮想資金の 1000万円を使って取引の体験ができます。

システムの無料デモ口座へ登録するには、ホームページ上の‘デモ口座開設’のボタンをクリックしてから、申込みフォームに必要事項を入力するだけです。その際、お客様のログインIDとパスワードを自由に設定いただけます。

デモ口座へアクセスするには、ログインボックスに、お客様が設定されたログインID(demo-で始まります。例:demo-12345)およびパスワードをご入力下さい。

ログイン

ログインID

パスワード

デモ口座

# 取扱商品概要

ここではActiveZero Neoで提供する取扱商品の概要を説明します。

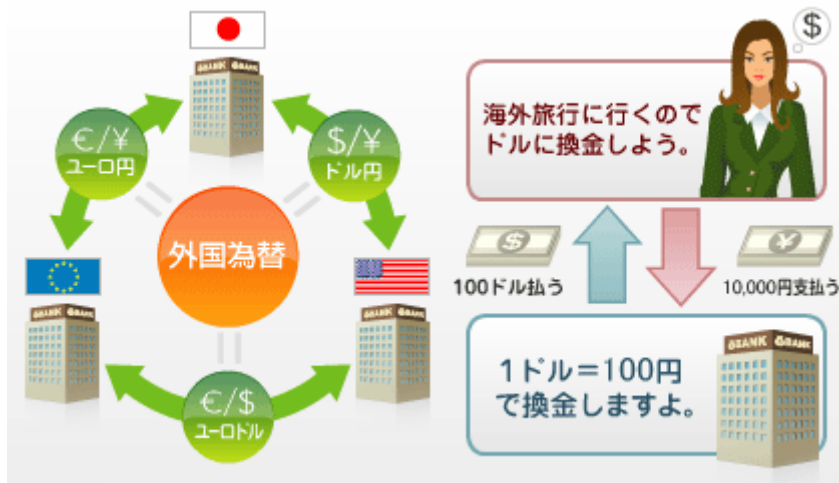
## >> FXとは？

外国為替を一気に身近にしたFX。外国為替取引は、ドルやユーロなどの外国通貨(為替)を売買し、主として外貨の受け渡しを行う取引です。そして、FX(外国為替証拠金)取引は、主として差金決済のみを行い、その差益を目的とする取引です。

外国為替取引は昼夜を問わず24時間、世界のどこかで行われており、通貨同士の交換比率「為替レート」は常に変動しています。

米ドルと日本円を例にしてみます。

1ドルを交換するのに100円を支払ったら、100円が日本円と米ドルの「為替レート」になります。



1ドル=100円が、1ドル=110円になりました。

円高でしょうか、円安でしょうか？答えは「円安」です。



1ドル=100円のときに日本円でドルを買い、1ドル=110円のときに売る(日本円に戻す)とすれば、差し引き10円が利益になります。

逆に、1ドル=90円のときに売ってしまうと、10円の損失になります。

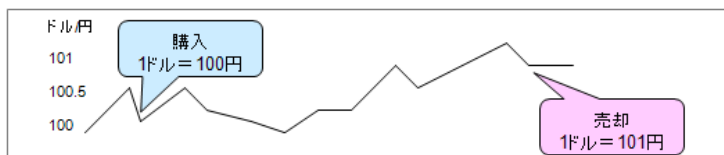
これが外国為替取引の基本的な考え方です。

## >> FX と外貨預金などとの違い

### ポイント1. 外貨預金・外貨MMFよりお得！

いままで一般的な外貨投資として、銀行が取り扱う外貨預金や、証券会社の外貨MMFがありました。それらとFXとを比較してみましょう。

例として、1ドル=100円の時に10万ドルを購入し、その後1ドル=101円で売却(決済)した場合を考えてみます。



	購入	売却(決済)	損益
外貨預金	$(100 + 1) \times 10 \text{万ドル} = 1010 \text{万円}$	$(101 - 1) \times 10 \text{万ドル} = 1000 \text{万円}$	- 100,000円
外貨MMF	$(100 + 0.5) \times 10 \text{万ドル} = 1005 \text{万円}$	$(101 - 0.5) \times 10 \text{万ドル} = 1005 \text{万円}$	± 0円
FX	取引コスト: 2,000円 (証拠金: 10万円)	$(101 - 100) \times 10 \text{万ドル} = 10 \text{万円}$	+ 98,000円

### 利益を上げられたのはFXだけ！

ドルを買う際、外貨預金は実際の為替レートより1円高い価格(外貨MMFは0.5円)で取引されます。逆にドルを売る際も同様の価格差が付くため、トータルで2円(外貨MMFでは1円)より大きな値動きがないと、為替差益を得ることはできません。一方、FXは実際の為替レートそのまま取引され、そのコストも低く抑えられているため、小さな値動きでも為替差益を得ることができます。

※外貨MMFの取引レートは証券会社によって異なります。

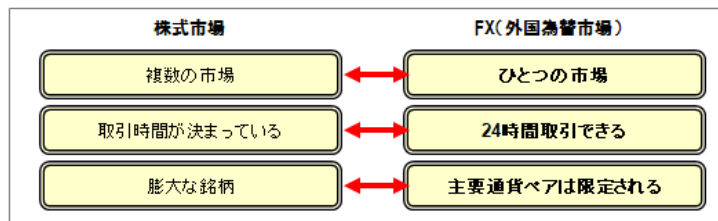
※証拠金額は、レバレッジの設定や為替レートによって変動します。

### ポイント2. 株式よりもシンプル ~ 公平で安定した取引

株式市場で取引されている銘柄数は、日本国内だけで2,000以上ありますが、FXで取り扱うのは、聞き慣れた米ドルやユーロなど世界の主要通貨です。

しかも、外国為替市場は株式市場に比べ、取引量が非常に多く、情報公開が進んでいるため、インサイダー取引や「ストップ高」「ストップ安」などがありません。

したがって、参加しやすく、公平な取引が可能といえます。



### ポイント3. 少ない投資金額で効率よく利益を上げられる「レバレッジ」

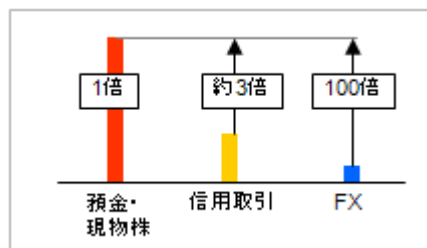
FXは「外国為替証拠金取引」とも言われます。つまり、少額の証拠金を支払うことで、証拠金以上の取引を行うことができます。たとえば1,000万円分の投資をします。

預金やMMF、現物株式であれば、当然1,000万円分の資金を用意する必要があります。

しかし、FXでは「証拠金」を支払うことで、例えば10万円で1,000万円分の取引をすることができます。

つまり、手持ち資金10万円で、その100倍の取引をすることができます。これを「レバレッジが100倍である」と言います。

(レバレッジとは「てこ」の意味です)



このレバレッジにより、小さな金額で大きな利益を上げられることになりませんが、一方で、損失も大きくなる可能性がありますので、レバレッジをあまり大きくしすぎないことが大切です。

### ポイント4. リスクをコントロールする仕組みがあります

レバレッジは、効率よく利益を上げるポイントになりますが、一方で損失も大きくしてしまう可能性があります。

しかし、FXには損失限定するしくみがあります。

#### ■ ストップロス注文

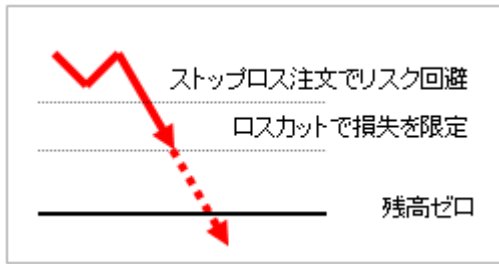
新規の注文の際に、あらかじめ「含み損がこの金額になったら売る(損切りする)」という注文を追加することを「ストップロス」といいます。予想以上に相場が変動した際に、大きな損失を避けることができます。

### ■ マージンアラート・ロスカット

ストップロス注文を行っていない場合でも、含み損が大きくなって、維持証拠金率が100%を越えたときにはアラートが出て、さらに125%を越えたときには、強制的にポジションを決済していただきます。これにより、損失が残高を上回る(残高がマイナスになる)事態を防ぐことができます。

※維持証拠金率=維持証拠金額/証拠金有効残高

ただし市場が大きく動いた場合など残高がマイナスになってしまうことがあります。



### ポイント5. 24時間取引できます

外国為替市場は土日やクリスマスなどを除き24時間動いているため、日中取引できない方でも夜や早朝に取引することができます。

帰宅後の取引でしっかり資産運用している人が増えています。

### ポイント6. 円高でも円安でも儲けられます

通常の金融商品は「まず安く買って、高くなったら売る」が基本ですが、FXでの利益の上げ方は大きく2通りあります。

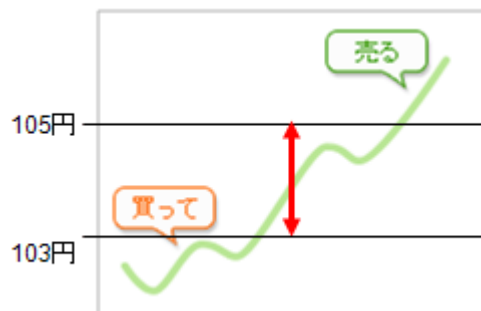
### ■ 外貨高・円安を予想する場合(買い)

たとえば、

1ドル=103円で買って

1ドル=105円で売る

これで1ドルにつき2円の為替差益が得られます。



### ■ 外貨安・円高を予想する場合(売り)

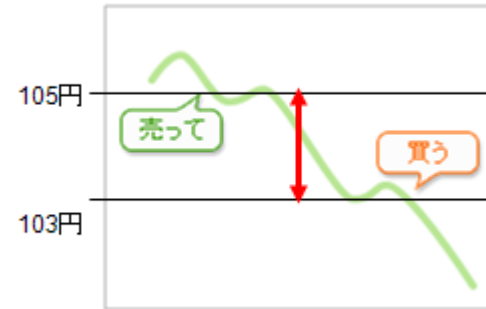
たとえば、

1ドル=105円で売って

1ドル=103円で買い戻す

それでも1ドルにつき2円の為替差益が得られます。

※為替レートの変動以外にも、スワップポイント(金利)の影響を受けます。



## レバレッジと証拠金

少額の資金で大きな取引ができることがCFD取引やFX取引の魅力のひとつです。このような取引のしくみをこの原理から「レバレッジ」と呼んでいます。

例えば、投資資金100万円、1ドル=100.00円の時に外国為替取引を行う場合の、3つのパターンを紹介します

	投資資金	維持証拠金	レバレッジ	総取引金額	損益 (±1.00円の値動)
(1)外貨預金	100万円	—	1倍	1万ドル =100万円	±1万円の損益
(2)FX取引 (最大取引)	100万円	100万円	100倍	100万ドル =1億円	±100万円の損益
(3)FX取引 (最小取引)	100万円	1万円	100倍	1万ドル =100万円	±1万円の損益

1. 一般的な外貨預金で外貨を購入する場合、100万円の資金で1万ドル(100万円÷100.00円/ドル)購入することができます。外貨預金の場合は「投資資金=総取引金額」となり、レバレッジで言えば1倍となります。

そして、ドル円が1.00円動けば、1万円(1.00円×1万ドル)の損益が発生します。

2. ActiveZero Neo の FX 取引の場合、レバレッジ 100 倍の取引となりますので、100 万円の投資資金で最大 1 億円分 (100 万円×100 倍)の取引ができますので、100 万ドルの買いポジションを保有することができます。この場合、ドル円が 1.00 円動けば、100 万円(1.00 円×100 万ドル)の損益が発生しますので、投資効果を高めることはできますが、リスクの高い取引となります。これが「レバレッジが高いほどリスクが高い」と言われる所以です。

(注意)投資資金に対して余裕のない(余剰金が少ない)取引を行った場合、自動ロスカットにかかる可能性が高くなります。

3. ActiveZero Neo の FX 取引で、(1)と同じく 1 万ドルの取引を行った場合、維持証拠金 1 万円で買いポジションを保有することができます。この場合、外貨預金と同じドル円が 1.00 円動けば、1 万円(1.00 円×1 万ドル)の損益が発生しますので、リスクは外貨預金と同水準です。そして、自動ロスカットにかからない範囲で残りの資金を他に有効活用することもできますので、投資効率を高めることができます。

### 証拠金の計算方法

証拠金とは、FX 取引や CFD 取引を行うに当たって預け入れが必要となる、いわば「担保」であり、ポジションを保有する注文を発注する際に必要となります。ActiveZero Neo ではポジション保有に必要となる証拠金を「維持証拠金」と呼んでいます。一般的に「維持証拠金」は「レバレッジ」の設定によって変わりますが、システムは通常レバレッジ 100 倍で固定されています。※市況の変化により変更となる場合もあります。ただし、ストップ注文やギャランティーストップ注文を付加し、リスクを抑えていただくことにより、維持証拠金が減額されますので、その分レバレッジが高くなります。

#### 1. ストップ注文付加なし

ActiveZero Neo での取引の場合、ストップ注文が付加されていない注文は、総取引金額の 1%(レバレッジ 100 倍)が「維持証拠金」となります。例えば 1 ドル=91.087 円のときに 10 万ドルの買いポジションを保有する場合、取引レート(100.00 円)×取引量(1 ロット=10 万ドル)÷100=91,087 円が維持証拠金となります。

#### 2. ストップ注文を付加

ストップ注文付きのポジションに関する維持証拠金額の計算方法は、設定された損失額とスリッページ(※)係数を合計した金額となります。

計算式：ストップ値(値幅) × 1pip あたりの損益額 × 取引ロット数 + スリッページ係数(「銘柄価格×取引ロット数×証拠金率」×20%)

例えば、GBP/JPY のレートが 148.725/148.795 の時、お客様は1ロット(10万ポンド相当)の買いポジションを新規に建て、50pips のストップを付加するとします。

計算式：50 × 1,000 円 × 1 + (148.795 × 100,000 ポンド × 1% × 20%) = 50,000 円 + 31,187.8 円 = 81,188 円 が維持証拠金額となります。

(※)スリッページ/スリッページ係数とは

ストップ(逆指値)注文を付加すると、設定されたレート(値幅)に達した時点で自動的にポジションの清算が開始されます。しかし、必ずしも設定されたレートで約定されるとは限りませんので、この設定したレート(値幅)と実際に約定した価格が異なる場合があり、これをスリッページといいます。その価格差をスリッページ幅といいます。

弊社では、スリッページによる損失可能性を考慮した金額を「スリッページ係数」と呼び、スリッページ係数はストップを付加しない場合の維持証拠金の 20%で算出しています。

チケット

GBPJPY (-)

取引 リープオーダー

取引口外数 1.0 (Min: 0.1)

損益通貨 JPY

売値 148.725

買値 148.795

ストップ・リミット

ストップ 50 ピップの値幅 (Min: 20)  
(予想値: 148.225 / 148.295)

ギャランティストップ

リミ外  ピップの値幅

両建て (ヘッジ)

証拠金額

JPY ¥64,880

チケット

 受付完了

通貨ペア・銘柄	GBPJPY
取引期間	-
レート	148.795
取引ロット数	買い1 取引銘柄
ストップレート	148.295
取引参照番号	DIAAAAAA6QN6NAV
リーブオーダー	ポジションの保有

### 3. ギャランティストップ注文付加

通常のストップ注文は、前述の通りスリッページが発生する可能性がありますので、損失額が膨らんでしまう場合があります。例えば、100.00 円の買いポジションに対して、99.00 円でストップの売り注文を付加していたとしても、経済指標の発表等で、99.00 をつけた瞬間に急落してしまうと、98.50 円での成立となる可能性もあります。また、取引の行われていない土日に行われた国際会議で為替を大きく動かす発表が行われると、週末 99.50 円で終わっていたとしても、週明け大きく乖離して 98.00 円ではじまってしまう可能性もあり、そうなると 98.00 円での成立となります。このようなスリッページを、保証料をご負担いただくことで発生させず、設定されたレートで必ず約定することを保証するのが「ギャランティストップ」です。

よって、ギャランティストップを付加すれば、最大損失額を確定させる(※)ことができるため、その最大損失額が維持証拠金額となります。

(※外資同士の通貨ペアの場合、清算時のレートで円換算されますので、損失額は確定できません)

例えば、1ドル=100.00 円のと看、10 万ドルの買いポジションを保有するに当たって、値幅 0.50 円(=50 ピップ)のギャランティストップ注文を設定した場合、未確定損失が 50,000 円(=0.50 円×10 万ドル)になった時点で清算されます。よって、50,000 以上の損失が発生することはありませんので、維持証拠金は 50,000 円となります。ただし、100.00 円の買いに対して、保証料としてスプレッド±0.03 円かかりますので、100.03 円での約定となります。

この場合、総取引金額 10,000,000 円に対して、維持証拠金は 50,000 円となっていますので、レバレッジは 200 倍(0.50%)となります。よって、レバレッジだけを見るとハイリスクの取引に見えますが、最大損失額が限定されているので、ストップ注文を付加していない 100 倍の取引よりも、リスク管理された取引となっています。

### マージンアラートと自動ロスカット

#### ■ マージンコールと自動ロスカット

外国為替取引は株式取引のような「値幅制限」がなく、お客様の資産は 1 日 24 時間リスクにさらされています。そのため、ActiveZero Neo では損失の拡大を未然に防ぐために、お客様ご自身で設定していただく「ストップ注文」とは別に「マージンコール」と「自動ロスカット(強制決済)」機能を採用しています。

#### ■ マージンコール

取引システムの「マージンコール」機能は、「証拠金残高(お預りしている証拠金)」に「未確定損益」を加算した「有効証拠金残高」が、「維持証拠金」を下まわった時点で、注意を促すメールが送信されます。この時点ではポジションの清算や追加証拠金の請求は行われません。


#### ■ 自動ロスカット

「未確定損失」がさらに拡大し、「有効証拠金」に対して「維持証拠金額」が 125%を超えた場合(証拠金有効残高÷維持証拠金額=80%未満)となった場合、以下の順で注文の取り消し(※)、ポジションの強制決済が行われます。※ActiveZero Neo では、未決オーダーにも維持証拠金が必要となります

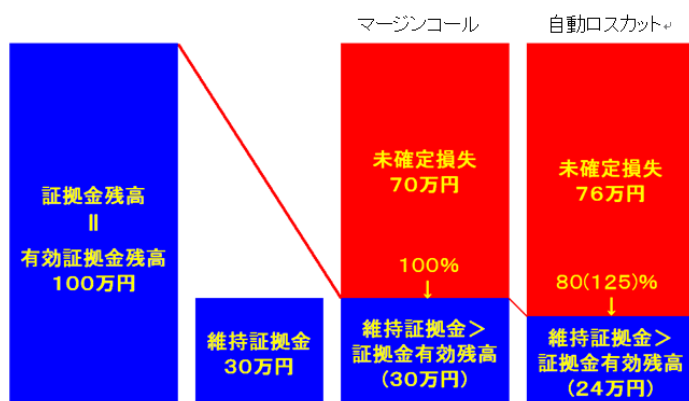
1. 未決オーダーのキャンセル(発注日時の古い順)
2. ストップ注文の付加されていないポジション(保有日時の古い順)
3. ストップ注文の付加されているポジション(〃)
4. ギャランティーストップ注文の付加されているポジション(〃)

例えば、お預かりしている「証拠金残高」が100万円で、保有ポジションに対して必要な「維持証拠金」が30万円の場合、まず未確定損益が発生していなければ、「証拠金残高」＝「有効証拠金残高」となります。予想に反して相場が動いてしまい「未確定損失」が発生し、70万円を超えて損失が発生した時点で「有効証拠金残高」が「維持証拠金」30万円を下回りますので、「マージンコール」となります。

さらに「未確定損失」が膨らんでしまい、「有効証拠金残高」が「維持証拠金」30万円に対して80%に当たる24万円を下回った時点で、すなわち未確定損益が76万円を超えた時点で自動ロスカットが始まります。

※現時点での「証拠金有効残高(証拠金残高+未実現損益)」と「維持証拠金額」は、システム画面左上の  をクリックするとご確認いただけます。

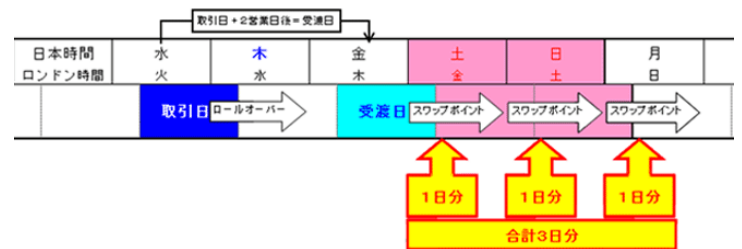
「維持証拠金額」と「維持証拠金率」はシステム画面左上に表示されておりますが、「維持証拠金率」は100%までの表示となっております。100%になった時点で「証拠金有効残高」＝「維持証拠金額」となりますので、証拠金およびポジション管理には十分ご注意ください。



ActiveZero Neoの「外国為替証拠金取引」も、インターバンク市場を通じてこのスポット取引を行なっています。

よって、本来であれば2営業日後に「受け渡し」が行われるのですが、ActiveZero Neoでは日をまたいでポジションを持ち越した場合、「受け渡し」を行うことなく自動的に「受け渡し日」を繰り延べる「ロールオーバー」方式を採用しています。そして、ロールオーバーする際に、受払いする2通貨の金利差相当分を「スワップポイント」といいます。これにより、ポジションが清算されるまで繰り延べの作業が繰り返されますので、原則として取引期限は無期限となります。

本サービスではロールオーバーの時間を、火曜日～土曜日の日本時間午前7:00(ロンドン夏時間帯は日本時間6:00)とし、スワップポイントの計算を開始します。日本時間で木曜日(ロンドン時間で水曜日)にポジションを持ち越した場合は、金曜日(水曜日の2営業日後)から土日を挟んで月曜日まで繰り延べたことになるため、日本時間の毎週木曜日は、土日を含めた3日分の受け払いが行われます。



また、ActiveZero Neoでのお取引の場合、各国の祭日等により受払いされる日数が通貨ペア毎に異なる場合があります。

[注意]

土曜日分につきましては、月曜日にお客さまの口座に反映されます。また、ロールオーバー後に順次計算が行われるため、システムに反映されるまでタイムラグが生じます。

円以外の通貨で発生したスワップポイントは、自動的に円にコンバージョン(両替)されます。その際、対円レートに0.5%の手数料が発生します。(米ドル口座の場合は米ドルに換算)

## スワップポイントについて

スワップポイントとは、外国為替証拠金取引を行う2国間の金利差によって発生します。取引する2通貨の金利を比較したときに、「金利の高い通貨の買い/金利の低い通貨の売り」の場合、スワップポイントを受け取ることができます。反対に「金利の低い通貨の買い/金利の高い通貨の売り」の場合、スワップポイントを支払わなければなりません。またスワップポイントは、市場金利に連動してActiveZero Neoにて随

## >> スワップポイント

### ロールオーバーについて

外国為替取引の種類のひとつに、「スポット取引(直物取引)」があります。スポット取引とは、取引成立から2営業日後に「受け渡し(決済/通貨の交換)」が行われる取引です。

時変更を行い、金利差が縮小していくと受取りと支払いが逆転することや、売り買いともに支払いとなる場合もあります。そして、短期金融市場が混乱し、資金調達が困難となったり、資金供給が過剰となった通貨は、政策金利の変動に関係なくスワップポイントに大きな変動が生じる場合があります。

例えば、米ドル/円の買いを10万通貨米ドル保有した場合、米ドルは買い(預け入れ)ですので金利の受け取り、日本円は売り(借り入れ)ですので金利の支払いが発生します。米ドル/円のレートを1米ドル=100.00円、米ドルの金利を年0.3%、日本円の金利を年0.1%とした場合、概算で下記の様な計算になります。

[米ドル]10万米ドル×0.3%÷365日(1日当り)×100.00円(円換算)=82円(受け取り)

[日本円]10万米ドル(円換算)×100.00円×0.1%÷365日(1日当り)=27円(支払い)

差し引き55円の受け取りになります

## スワップポイントの確認方法

日々のスワップポイントは、システムやウェブサイトでご覧いただけます。

翌営業日に受け払いされるスワップポイントの更新は、原則として16時以降に行われます。

ただし、市場金利の変動やマーケットの状況等により、スワップポイントの確定に時間がかかったり、不定期に変更となる場合があります。

なお、表示されているスワップポイントの金額はその時点での予定金額であり、実際の金額はお客様の口座残高に反映された時点で確定となります。

## システム

通貨ペア	銘柄	売値	買値	更新時間	高値	安値	売リスワップ	買リスワップ
1	オセロ株値指数	9732	9738	13:54:22	9795	9727	0	0
2	USD/JPY	90.83	90.84	13:55:06	91.646	90.808	-0.15	0.06
3	EUR/USD	1.4716	1.4718	13:55:06	1.47550	1.46857	-0.15	0
4	GBP/JPY	148.45	148.52	13:55:06	149.606	148.403	-0.48	0.33

## ウェブサイト

通貨ペア	売スワップ 全額	買スワップ 全額	売スワップ ポイント	買スワップ ポイント	スプレッド
USD/JPY	-150.00 JPY	60.00 JPY	-0.15	0.06	0.09
EUR/JPY	-270.00 JPY	120.00 JPY	-0.27	0.12	0.15
AUD/JPY	-2010.00 JPY	1860.00 JPY	-2.01	1.86	0.15
CAD/JPY	-180.00 JPY	30.00 JPY	-0.18	0.03	0.15
CHF/JPY	0.00 JPY	-150.00 JPY	0	-0.15	0.15
NZD/JPY	-1440.00 JPY	1290.00 JPY	-1.44	1.29	0.15
HKD/JPY	-30.00 JPY	-60.00 JPY	-0.03	-0.06	0.09
GBP/JPY	-480.00 JPY	330.00 JPY	-0.48	0.33	0.15

10万ドルの買い場合、 $0.0005(0.05\text{pip} \div 100) \times 10\text{万ドル} = 50\text{円}$  ※スワップポイントは pips 表記(米ドル/円の場合 1pip = 0.01円)となっています。

## FXの取引例

ActiveZero Neo ではすべての通貨ペアが手数料無料にてお取引でき、維持証拠金率も取引額のわずか1%から(※)新規ポジションが保有できます。

※一部の通貨ペアは2%、3%、7%となります。

お客様はFXの通貨ペアの取引において、お客様自身のマーケット予想に基づいて、買いからでも売りからでもはじめることができます。本サービスがお客様からいただく手数料は、取引スプレッドとしてお取引レートに含まれています。詳しくはウェブサイトの契約詳細情報をご参照下さい。

## 実際のFXの取引例:

外国為替証拠金取引では、各通貨ペアの為替レートが下表のように表示されます:

通貨ペア	時間	売値	買値	安値	高値	取引外数
AUD/USD	14:02:28	0.8709 <sub>2</sub>	0.8711 <sub>2</sub>	0.86477	0.87197	100K
EUR/CHF	14:02:28	1.5119 <sub>2</sub>	1.5123 <sub>2</sub>	1.51183	1.51354	100K
EUR/GBP	14:02:28	0.8999 <sub>9</sub>	0.9002 <sub>9</sub>	0.89971	0.90184	100K
EUR/JPY	14:02:24	133.73 <sub>5</sub>	133.76 <sub>5</sub>	133.597	134.697	100K
EUR/USD	14:02:05	1.4723 <sub>5</sub>	1.4725 <sub>5</sub>	1.46867	1.47650	100K
GBP/EUR	14:02:26	1.1106 <sub>6</sub>	1.1112 <sub>6</sub>	1.10875	1.11167	100K
GBP/JPY	14:02:28	148.56 <sub>1</sub>	148.63 <sub>1</sub>	148.399	149.606	100K
GBP/USD	14:02:28	1.6356 <sub>7</sub>	1.6359 <sub>7</sub>	1.63162	1.63753	100K
USD/CAD	14:02:26	1.0751 <sub>8</sub>	1.0757 <sub>8</sub>	1.07327	1.07761	100K

お客様は、右側に表示の通貨が値上がりすると予想した場合は買い取引をし、反対にその通貨が値下がりすると考える場合は売り取引をします。

ですから、お客様は、米ドルが日本円に対して値上がり(すなわち円安ドル高)すると考えた場合、ドル/円の買い取引をすることとなります。同様にして、円が米ドルに対して値下がり(円安)すると予想した場合は、ドル/円の売り取引をすることとなります。

お取引例:USD/JPY の売り取引:

### ■ ポジションの保有方法

お客様が呼値 90.835/90.855 であるときに売値である 90.835 にて5ロットの取引(取引額にして \$ 500,000 に相当)を執行したとします。

チケット

USD/JPY (-)

取引 リープオーダー

取引口外数 5.0 (Min: 0.1)

損益通貨 JPY

売値 90.835

買値 90.855

ストップ・リミット

ストップ  ピップの値幅 (Min: 10)

ギラナイストップ

リミット  ピップの値幅

両建て (ヘッジ)

証拠金額

JPY ¥ 454,275

※画面上の証拠金額は仲値で表示されます。

お客様の保有ポジションの取引額は  $\$ 500,000 \times 90.835 = \text{¥} 45,417,500$  となります。このポジションを保有するために、お客様は維持証拠金の入金が必要となりますが、取引額のわずか 1% です。維持証拠金額は  $1\% \times \text{¥} 45,417,500 = \text{¥} 454,175$  となりました。取引に必要な維持証拠金はわずかですが、FX 取引はレバレッジ商品であり、初回入金額を超える損失が発生する可能性がありますので十分注意下さい。

### ■ ポジションの清算方法

その後、ドル/円は 90.768/90.788 まで下落しました。お客様は 90.788 にて買い取引を5ロット執行することで利益を確定することになりました。

チケット

USD/JPY (-)

ポジション清算 条件変更

清算口外数 5 (最大値 5)

損益通貨 JPY

未実現損益 ¥ +23,500

外号番号 A6QUS6AD

売値 90.768

買値 90.788

お客様のこの取引における利益額は次のように計算されます:

清算ポジション  $\$ 500,000$  (5 取引)  $\times 90.835 =$   
 $\text{¥} 45,417,500$

保有ポジション  $\$ 500,000$  (5 取引)  $\times 90.788 =$   
 $\text{¥} 45,394,000$

この取引における利益額  $\text{¥} 23,500$

総利益額の正確な算出には当日で発生するスワップ金利調整額を考慮する必要があります。

### ■ スワップポイント

日にちをまたがって、ポジションを保有した場合、お客様が保有するドル/円の金利調整としてスワップポイントがお客様の口座に反映されます。

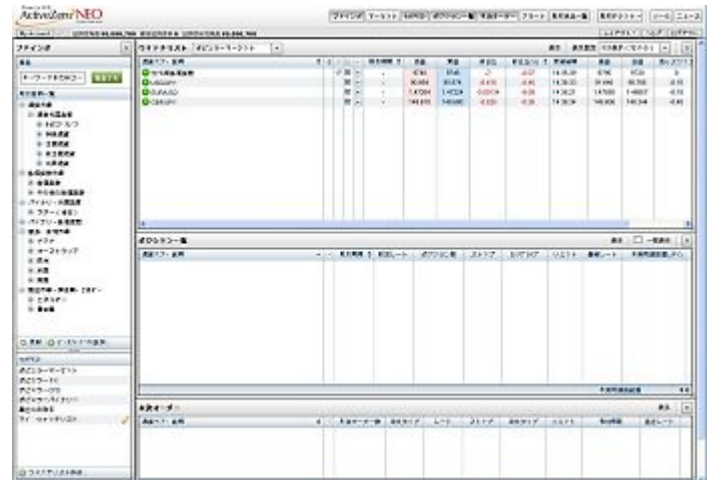
円金利がドル金利に比べて低い場合、お客様はスワップポイントを支払うことになります。

原則として、金利が高い通貨を買い、金利が低い通貨を売った場合はスワップポイントの受け取りとなりますが、為替市場の流動性等さまざまな要因により、受け取りから支払いに転じたり、売り買いともに支払いになることがあります。

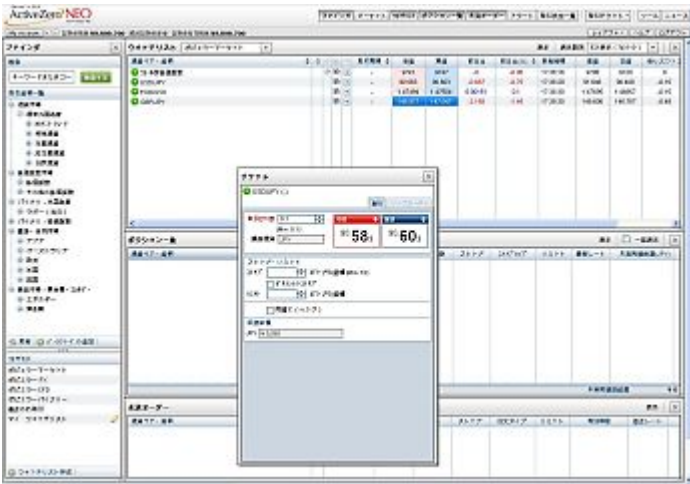


## FX 取引画面

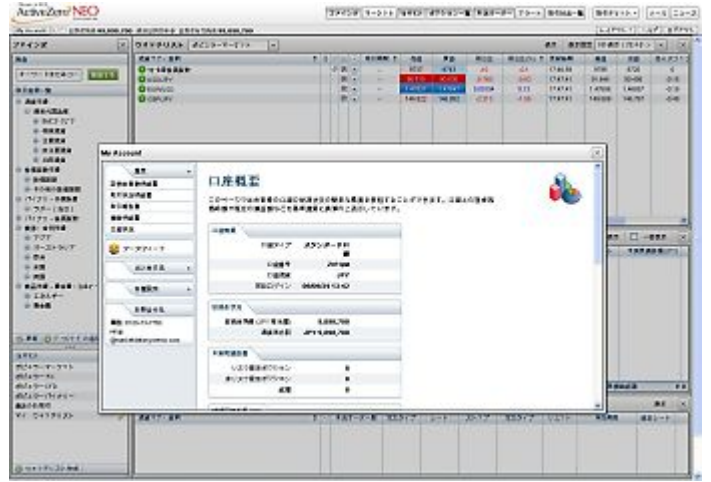
### ■ システムの基本画面:表示項目をカスタマイズできます。



■ **取引画面**:このチケットで取引を行います。必要となる証拠金額も確認できます。



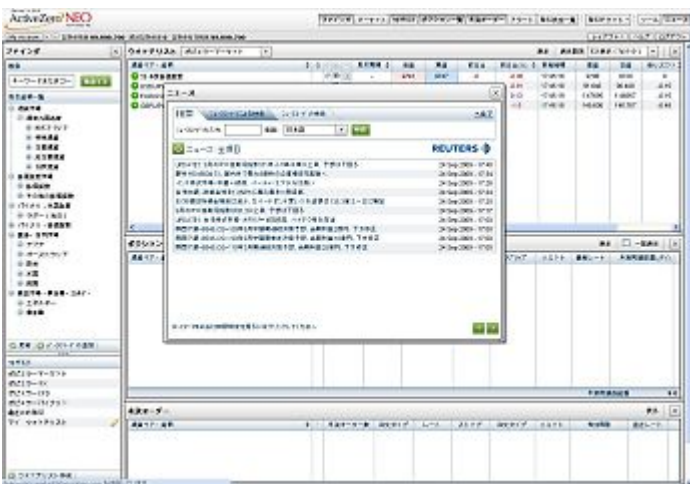
■ **口座状況**:お客様の取引履歴が簡単に参照できます。



■ **チャート**:初心者向けからプロ仕様まで、様々なチャートをご用意しています。



■ **ロイターニュース画面**:最新の情報を無料で参照することができます。



## CFD とは？

CFDの基本的な取引方法はほぼFXと同じで、その差益を目的とする取引です。少額の資金(証拠金)を元手に、大きな金額の取引ができることが大きな特長です。

ひとつの口座で外国為替や株式、株価指数などが取引できる  
ActiveZero Neo で取引できる銘柄

FX:	65 通貨ペア
株価指数 CFD:	世界の 30 株価指数
株式 CFD:	欧米の各種主要株価指数の構成企業銘柄、 及び流動性の高い日本株など約 6,000 銘柄超
商品 CFD:	貴金属(金など)5 銘柄 エネルギー(原油など)6 銘柄
債券先物・金利先物:	各国の主要国債銘柄、 3 カ月金利レートなど 18 銘柄
バイナリーオプション:	株価指数バイナリー取引、 外国為替(FX)バイナリー取引

それぞれの商品の詳細は、ウェブサイトの契約詳細情報をご確認ください。

基本的な取引のしくみは FX 取引と同じ

■ **同じ画面で取引できる**

ActiveZero Neo の CFD は FX 取引と同じ取引ツールを使用します。これにより、Web ブラウザさえあれば、FX と同じ操作方法で取引可能です。

### ■ コストが安い・ルールが単純

CFD は一般的に信用取引にくらべ取引コストが安いのが魅力です。また、CFD で株式を売買した場合、配当は配当金に相当する調整額が受払いされます。

詳細は 12 ページをご覧ください。

### 下げ相場こそチャンスになる

#### ■ 「売り」ポジションで利益を追求

相場が下落している時でも、「売り(ショート)ポジション」を保有することで利益を上げることができます。

#### ■ ファンディングコスト(オーバーナイト金利)

株価指数 CFD 取引および株式 CFD 取引において「買いポジション」を保有している場合、ファンディングコスト(資金調達コスト:オーバーナイト金利)の支払いが発生します。

また、原則として「売りポジション」を保有している場合のファンディングコストは、受け取りとなりますが、当該国の指標金利が低金利(通常 2.0%未満)の場合、支払いとなりますので、ご注意ください。

詳細は 12 ページをご覧ください。

### 24 時間、効率よく取引ができる

#### ■ 日経 225 参照株価指数を 24 時間取引

前場(9:00~11:00)/後場(12:30~15:30)と取引時間が限られている取引所での取引とは異なり、CFD では株価指数も 24 時間取引が可能です。

※マーケットの状況等により、ご注文を受け付けできない場合があります

#### ■ 少額の資金で取引ができる

レバレッジをかけることで、手元の資金よりも大きな額の取引ができます。



## CFD と他の金融商品の違い

### ポイント 1. 国内個別株をより手軽に売買できる

国内株式の取引方法として、現物株の他に信用取引があります。CFD とこれらの取引を比較してみましょう。

	CFD	現物株	信用取引
取引時間	9-11 時、12 時 30 分~15 時	9-11 時、12 時 30 分~15 時 (東証)	9-11 時、12 時 30 分~15 時 (東証)
銘柄数	約 500	4000 弱	証券会社による
レバレッジ	約 10 倍程度※	なし	約 3 倍
売りから取引開始	○	×	○
配当	あり	あり	あり
株主優待	なし	あり	なし
手数料	取引金額の 0.105%	証券会社によ て異なる	証券会社によ て異なる
受渡日	取引当日	3 日後	3 日後

※銘柄によって異なります。またストップの付与によりさらにレバレッジを高められます。

### 株価指数の場合

	株価指数 CFD	ETF	日経平均先物
取引時間	24 時間	9:00~11:00、 12:30~15:00 (東証)	9:00~11:00 / 12:30~15:10 / 16:10~20:00
売り	○	△(信用取引は可)	○
取引期限	なし	なし	あり
手数料	なし	あり(証券会社によ って異なる)	あり(証券会社によ って異なる)

### ポイント 2. 少ない投資金額で効率よく利益を上げられる「レバレッジ」

CFD は Contract for Differences(差金決済取引)の略語です。つまり、少額の証拠金を支払うことで、証拠金以上の取引を行うことができます

たとえば 100 万円分の投資をします。現物株式であれば、当然 100 万円分の資金を用意する必要があります。

しかし、CFD では「証拠金」を支払うことで、例えば 10 万円分 100 万円分の取引をすることができます。

つまり、手持ち資金 10 万円で、その 10 倍の取引をすることができます。これを「レバレッジが 10 倍である」と言います。(レバレッジとは「てこ」の意味です)

このレバレッジにより、小さな金額で大きな利益を上げられることとなりますが、一方で、損失も大きくなる可能性がありますので、レバレッジをあまり大きくしすぎないことが大切です。

詳しくは 04 ページをご覧ください。

### ■ 下げ相場こそチャンスになる (売りポジションで利益を追求)

株価が下落しているときでも、「売り(ショート)」から取引を開始できますので利益を上げることができます。

### ■ 金利がもらえる

当該国の指標金利が高金利(通常 2.0% 超え)の株価指数 CFD 取引および株式 CFD 取引で、「売りポジション」を保有している場合、原則としてファンディングコスト(資金調達コスト: オーバーナイト金利)を受け取ることができます。

ただし、「買いポジション」を保有している場合は支払いとなり、「売りポジション」の場合でも、指標金利が低金利(通常 2.0% 未満)の場合は、支払いとなりますのでご注意ください。

### ■ 主要株価指数を夜間でも取引できる (日本 225 参照銘柄を夜間でも取引可能)

FX と同じように CFD では主要株価指数が夜間でも取引できません。

日本の株価指数をニューヨークの株価動向を確認しながら取引できます

### ■ 小額の資金で取引ができる

FX と同様、レバレッジをかけることで、手元の資金よりも大きな額の取引ができます。

詳しくは 04 ページをご覧ください。

### ポイント 3. リスクをコントロールする仕組みがあります

レバレッジは、効率よく利益を上げるポイントになりますが、一方で損失も大きくしてしまう可能性があります。

しかし、CFD には損失限定するしくみがあります。

### ■ ストップロス注文

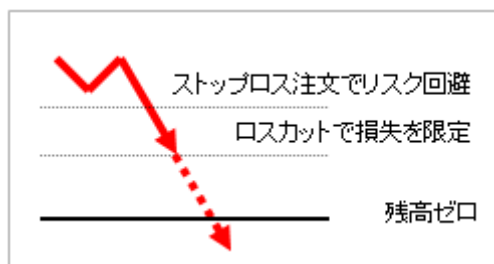
新規の注文の際に、あらかじめ「含み損がこの金額になったら売る(損切りする)」という注文を追加することを「ストップロス」といいます。予想以上に相場が変動した際に、大きな損失を避けることができます。

### ■ マージンアラート・ロスカット

ストップロス注文を行っていない場合でも、含み損が大きくなって、維持証拠金率が 100% を越えたときにはアラートが出て、さらに 125% を越えたときには、強制的にポジションを決済しています。これにより、損失が残高を上回る(残高がマイナスになる)事態を防ぐことができます。

※維持証拠金率 = 維持証拠金額 / 証拠金有効残高

ただし市場が大きく動いた場合など残高がマイナスになってしまうことがあります。



## 資金調達コストと配当

### 資金調達コスト

株価指数 CFD 取引および株式 CFD 取引は、購入代金を支払うことなく、お預けいただいた証拠金の範囲内で買いポジションを保有することができますが、「購入代金 = 借入金」という取引のしくみになりますので、日々、金利の支払いが発生します。

反対に、売りポジションを保有した場合、売却代金を受け取ることはできませんが、「売却代金 = 貸し付け」という取引のしくみになりますので、日々金利の受け取りが発生します。

この金利分を「ファンディングコスト(資金調達コスト: オーバーナイト金利)」といい、日をまたいで(日本時間 7:00/夏時間 6:00)ポジションを待ちこした場合には発生し、デイトレード(日計り売買)では発生しません。

ファンディングコストの算出に使われる金利は、当該国の指標金利(通常 LIBOR)が中値となり、買いポジションの場合は「指標金利 + 2.0%」の支払い、売りポジションの場合は「指標金利 - 2.0%」の受け取りとなります。

よって、当該国の指標金利が低金利(通常 2.0%未満)の場合、売りポジションであっても支払いとなりますのでご注意ください。

#### <計算例>

株式 CFD 取引にて、A 社株を 450 円で 1,000 株の買いポジションを、日をまたいで保有。

A 社株の終値が 500 円、指標金利(円 LIBOR)が 0.35%だった場合。

終値 × 株式数 × (指標金利 + 2%) ÷ 360 日(1 日分) =  
ファンディングコスト

500 円 × 1,000 株 × (0.35% + 2.00%) ÷ 360 日 = 32.6 円

株式 CFD 取引にて、A 社株を 450 円で 1,000 株の売りポジションを、日をまたいで保有。

A 社株の終値が 500 円、指標金利(円 LIBOR)が 0.35%だった場合。

終値 × 株式数 × (指標金利 - 2%) ÷ 360 日(1 日分) =  
ファンディングコスト

500 円 × 1,000 株 × (0.35% - 2.00%) ÷ 360 日 = 22.9 円

#### CFD における配当

配当金調整額は、配当落ち日前日の取引終了時点で買いポジションを保有しているお客様に対して支払われます。売りポジションを保有しているお客様は、逆にお客様の支払いとなります。

各国の税制により源泉徴収後の金額を受け払いすることになります。日本株の場合、買いポジションには配当金相当額の 90%が支払われ、売りポジションは 100%の支払いとなります。

お客様が、全日空株の配当落ち日に 10,000 株分の買いポジションを保有していたとします。一株あたり 5 円の配当が支払われた場合、配当金調整額は源泉徴収後の配当金相当額として一株あたり 4.5 円がお客様の口座に支払われます。

受取配当金相当額 = 10,000 × 4.5 円 = 45,000 円

国名	買い ポジション (受取り)	売り ポジション (支払い)
アイルランド	100	100
フィンランド	100	100
ギリシャ	100	100
オーストラリア	100	100
香港	100	100
南アフリカ	100	100
スウェーデン	95	100
日本	90	100
ベルギー	90	100
英国	90	90
アメリカ	85	100
オーストリア	85	100
フランス	85	100
ドイツ	85	100
イタリア	85	100
オランダ	85	100
ポルトガル	85	100
デンマーク	85	100
ノルウェー	85	100
スイス	85	100
カナダ	85	100
スペイン	82	100
シンガポール	80	80

#### 株主の権利

お客様は実際の株券を保有しているわけではないので、上場企業の企業活動などに対する議決権や株主優待など、株主としての権利は発生しません。



#### CFD の取引例

例えば、東京証券取引所においてA社の株が、1株345円で取引されていたとします。

お客様は、A社の業績見込みは堅調であり、ここ数日間の下げ基調は一時的で、345円では、A社の株価は過小評価されていると考えました。

そこで、お客様は株式 CFD 取引でA社株を 10,000 株の買いポジションを保有することにしました。

CFD 取引の場合、通常の株式取引のように、取引所を通じて現物株を保有する訳ではありません。

お客様は、取引受託業者の FXOnline Japan と相対取引にて、CFD 取引を締結することになります。

取引受託業者の FXOnline Japan が提示する価格は、常に取引所の価格と同じで、お客様は買値である 1 株345円で買いポジションを保有することができます。売却の際も同じですので、損益についても現物株を購入した際と同じになります。

個別株 CFD 取引の基本レバレッジ10倍(10%)で計算をした場合、取引に必要な維持証拠金は $345円 \times 10,000株 \div 10 = 345,000円$ となり、現物取引の10分の1の資金で取引できます。  
※維持証拠金はストップ注文を付加することで減額することも可能です。

また、通常の株式取引と同様、株式 CFD 取引にも手数料がかかります。

本サービスの日本株における標準手数料は0.105%(税込)で、最低手数料が1,050円(税込)となっています。

よって、お客様の A 社株の買い取引における手数料は以下になります。

$345円 \times 10,000株 \times 0.105\% = 3,623円(税込)$

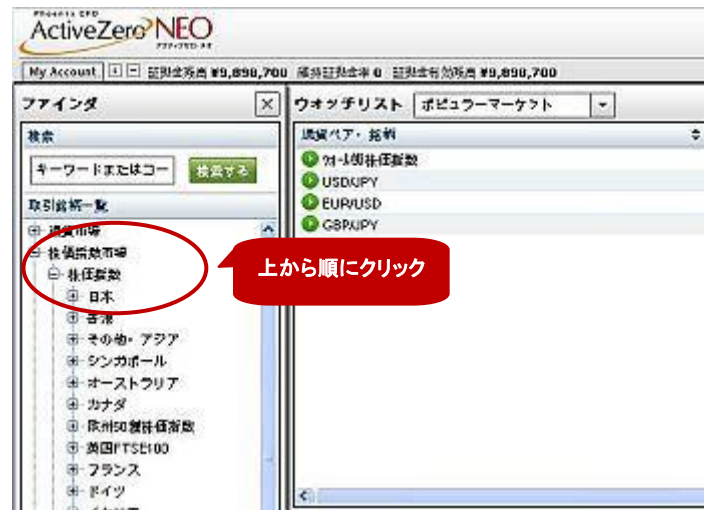


## CFD の取引画面

CFD 取引画面の操作方法について、「日本 225 種株価指数」を例にみてみましょう。

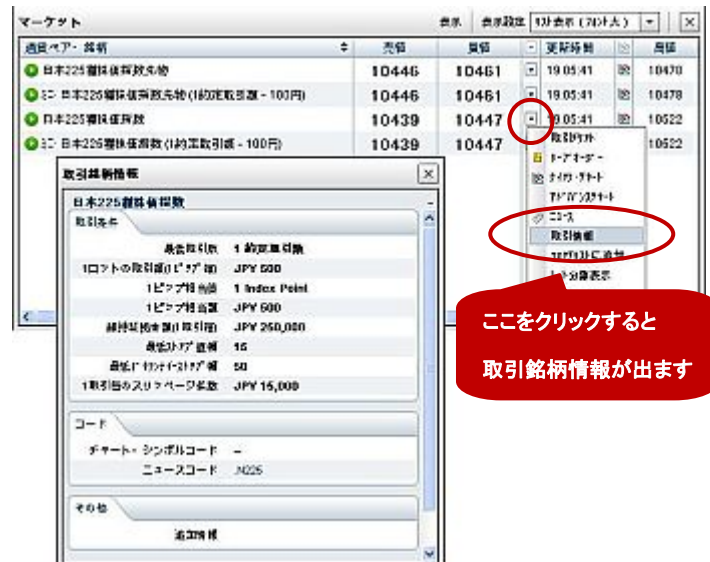
### STEP1

まずは銘柄「日本 225 種株価指数」を探します。もっとも簡単なのは、ファインダの「取引銘柄一覧」を利用する方法です。「株価指数市場」→「株価指数」の順にアクセスし、最後に「日本」をクリックすると、「マーケット」画面に取引可能な日本の株価指数銘柄が表示されます。その中に「日本 225 種株価指数」があります。また、検索ボックスに銘柄名を入力し「検索する」をクリックしても、同じように「マーケット」画面に反映されます。



### STEP2

(▼)をクリックし「取引情報」を選択すると、最低取引数や 1 ロットあたりの維持証拠金額など、取引に必要な各種情報を閲覧することができます。



### STEP3

情報収集には画面右上の「ツール」を活用しましょう。下記のようなチャートが簡単にご覧いただけます。



### STEP4

では、取引を試みましょう。「マーケット」画面に表示されている銘柄名「日本 225 種株価指数」をクリックすると、「チケット」が立ち上がります。

### STEP5

3 ロットを取引することにしました。「取引ロット数」に「3」と入力すると、自動的に必要な証拠金額(225,000 円)が表示されます。

### STEP6

マーケット価格から 50 ポイントの値幅でストップ注文を付加することにした。「ストップ」の欄に「50」と入力すると、自動的に証拠金額が 120,000 円に減額されました。

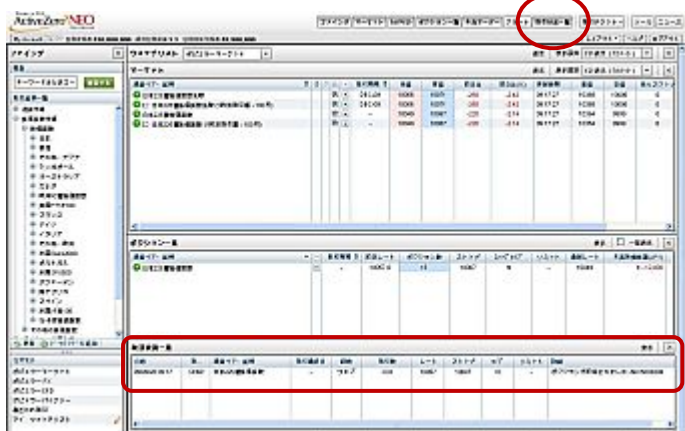
## STEP7

日本 225 種株価指数が今後「上がる」と予想するならば、「買値」をクリックします。「受付完了」画面が表示され、これで取引成立となります。



## STEP8

「閉じる」をクリックして「受付完了」画面を閉じましょう。執行された取引は「取引状況一覧」に表示されます。取引履歴はここですべて確認できます。



## バイナリーの仕組み

「日本 225 種株価指数(当日)10030 以上に上昇」

これは本日の取引終了時に 10030 より上にレートがあるかどうかを予測します。答えは2つで YES(買い) or NO(売り) で注文を出します。(1 ロットで計算)

結果は4つになります。

**1. 自分は上がると思っていたので、39.1 で 1 ロットの買い(買値をクリック)**

【1】 10040 で引けた場合。

予想が当たり利益は  $(100 - 39.1) \times 1000 = 60900$  円の利益

【2】 10020 で引けた場合。

予想がはずれ証拠金そのまま損失となります。  $39.1 \times 1000 = 39100$  円の損失

**2. 自分は下がると思っていたので、33.2 で 1 ロットの売り(売値をクリック)**

【3】 10040 で引けた場合。

予想がはずれ証拠金そのまま損失となります  $(100 - 33.2) \times 1000 = 66800$  円の損失

【4】 10020 で引けた場合

予想が当たり利益は  $33.2 \times 1000 = 33200$  円の利益

日本 225 種株価指数先物バイナリーの 1 ポイントの損益額は 1 ロットあたり 1,000 円となります。

## バイナリーの取引時間

バイナリーオプションの取引時間は、取引したいバイナリーオプションの「取引情報」のウィンドウを開いて「取引時間」でご確認ください。下図の場合は「9:03~14:59」まで取引できます。ここで重要なことは参照マーケットの終了時間と若干差があることです。



## バイナリーオプションとは？

バイナリーオプション(Binary Option)のラダーとは、設定された価格を最終的な価格が、超えるかを予想するものになります。

取引期限も当日のみとなっておりますので、比較的短期間での投資であり、レンジ相場時の投資手段にも有効です。取引最終期限までにポジションを清算することも可能です。

バイナリーオプションの価格は 0 から 100 の間でのみ変動します。

すなわち取引を開始した時点で最大利益額、最大損失額が確定するという分かりやすさもメリットとなります。(口座通貨以外の取引の場合は為替リスクがあります。)

日本225の場合、参照マーケットの終了は15:00ですが、その1分前までしか、売買はできません。

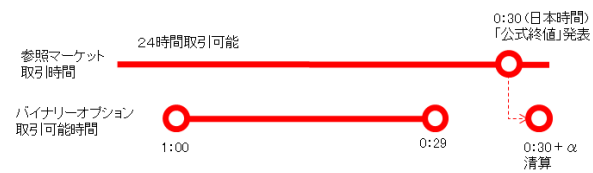
最終的な清算は「日経平均の公式終値」で行われます。これは基本的に15:00の時点での終値ですが、「公式終値」の発表を待って清算するため、15:00より清算時には遅れが生じます。

取引時間のイメージは下記イメージ図をご参照ください。

■ 日本 225 の場合



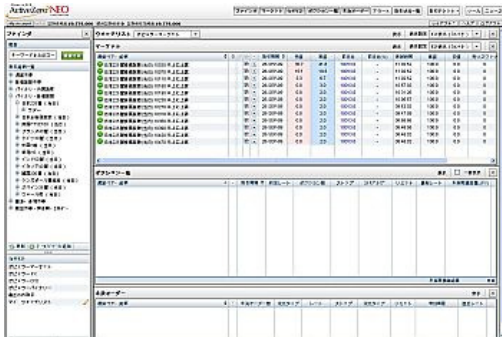
■ FTSE の場合



バイナリーの取引画面

■ STEP1

FX や CFD と全く同じ画面です。日本 225 種株価指数のラダー（当日）表示を選びます。



■ STEP2

取引情報を確認すると、この取引の終了時刻は9月28日14時59分であることがわかります。



■ STEP3

値動きをチャートで確認し、分析することもできます。



■ STEP4

「10030 以上に上昇する」と予想したので「買値」を選びます。ここに表示されている証拠金額が、最大損失額となります。



■ STEP5

買値をクリックすれば購入完了です。



# 取引システム概要

システム画面には様々な操作パネルがあります。

ここでは各パネルの機能説明をいたします。

## >> デフォルト画面

特定の銘柄をモニターされたい場合、ウォッチリストに保存するか、

もしくは‘マーケット’画面に表示をするか、いずれかの操作を行って下さい。

‘リスト表示’では、広範囲にわたる情報が分かりやすく、明確に表示されます。

通貨ペア・銘柄	売値	買値	更新時間	高値	安値
① ユーロ株価指数	9089	9095	09:38:10	9113	9067
② FTSE100種株価指数	4560.4	4565.4	09:38:08	4571.9	4537.0
③ フランス40種株価指数	3378.3	3384.3	09:38:08	3387.6	3355.0
④ ドイツ30種株価指数	5297.0	5304.0	09:38:08	5305.2	5262.5
⑤ 中国42種株価指数	20227	20267	09:38:08	20329	20116
⑥ 韓国200種株価指数	19773	19793	09:41:25	19928	19718
⑦ インド50種株価指数	4503	4508	06:30:45	4508	4503
⑧ 日本225種株価指数	10123	10133	09:39:44	10193	10004
⑨ 銅先物	27.55	27.70	06:30:45	28.40	27.55
⑩ スポット・金	929.50	930.00	09:40:29	931.00	928.55
⑪ WTI原油先物	6301	6309	09:41:06	6338	6267

## 各画面の表示項目の説明

- 通貨ペア・銘柄: ご指定の銘柄がウィンドウに表示されます。銘柄の削除には、▽マークのついたプルダウンメニューをクリックし、‘削除’を選択します。このプルダウンメニューについての詳しい説明はページ 05をご覧ください。
- 取引期間: 先物やバイナリーなど取引期限がある銘柄の取引期間を示します。
- 売値: お客様が売り注文を出すことができる、現在のマーケットレートを示します。
- 買値: お客様が買い注文を出すことができる、現在のマーケットレートを示します。
- 前日比: 前日の終値からの変動値を示します。24時間取引が可能な銘柄はロンドン時間22時、日本時間午前7時(夏時間は午前6時)からの変動値となります。
- 前日比(%): 前日比を現在の提示価格で割った変動率を示します。
- 更新時間: 表示時刻は日本時間です。
- 高値: 該当する銘柄の当日(日本時間午前7時からの、夏時間は午前6時から)の提示価格の最高値を示します。
- 安値: 該当する銘柄の当日(日本時間午前7時からの、夏時間は午前6時から)の提示価格の最安値を示します。

## ポジション一覧画面

ポジション一覧画面ではお客様が保有するすべてのポジションの現在の状況が表示されます。ここには未決オーダーは表示されません。(未決オーダーは次項をご参照下さい。)

通貨ペア・銘柄	取引期間	約定レート	ポジション数	ストップ	ストップ247*	リミット
日本225種株価指数	-	10128.0	+1	-	-	-
ユーロ100種株価指数	-	9091.0	-1	-	-	9000

画面内の表示項目の説明

- 通貨ペア・銘柄: ご指定の銘柄がウィンドウに表示されます。
- ポジション数: 該当する銘柄における、お客様が保有する売買取引のロット数が表示されます。
- 約定レート: お客様が保有するポジションの建値を示します。  
マーケットレート: 該当するマーケットのリアルタイムによる最新マーケットレートを示します。
- ストップ: ポジションにストップ注文が付加された場合、お客様がご指定されたストップ値が表示されます。
- ストップタイプ: ポジションに付加されたストップ注文の種類を表示します。(例: ストップ/ギランティーストップ注文、など)
- リミット: ポジションにリミット注文が付加された場合、お客様がご指定されたリミット値が表示されます。
- 未実現損益額: 該当ポジションにおけるお客様の未実現損益額を示します。この金額はマーケットの変動に応じて更新されます。
- 一括表示: このボタンをクリックすると画面内の保有ポジションを銘柄別一括表示します。(例: 同一の銘柄の個々のポジションを一括表示)

## 未決オーダー画面

未決オーダーの画面にはお客様が発注されたが、まだ取引ポジションとして約定していないリープオーダーが表示されます。リープオーダーとは、特定の銘柄がお客様ご指定のレートに達した際に売りもしくは買いの取引を執行する注文のことを指します。

通貨ペア・銘柄	取引期間	未決オーダー数	注文タイプ	レート
ミニ・FTSE100種株価指数(1約定取引額=24*247)	-	-	リミット	4500.0

未決オーダー画面の表示項目は、ほぼポジション一覧画面と同じですが、以下の追加項目があります。

- 注文タイプ: ストップ注文・リミット注文の別を表示します。
- レート: お客様が設定された注文レートを示します
- 有効期限: 注文の有効期限を表示します。GTC注文は、注文がキャンセルされるまで有効な注文です。ご指定の日時にキャンセルをする設定がされている場合は、その該当日時が表示されます。

## 取引状況一覧

取引状況一覧画面ではお客様の注文、取引状況の詳細などを確認することができます。また、執行された注文、清算取引、受付されなかった注文などの詳細も表示されます。

日時	取...	通貨ペア・銘柄	取引最終日	種別	取引数	レート	ストップ	列
09/07/30 10:01	OTO	ミニ・FTSE100種株価指数(1約定)	-	ウェブ	+1	4500	70	N
09/07/30 09:48	S&L	ユーロ100種株価指数	-	ウェブ	-1	9091	-	N
09/07/30 09:47	Order	日本225種株価指数	-	ウェブ	+1	10128	-	N
09/07/30 09:47	Order	ユーロ100種株価指数	-	ウェブ	-1	9091	-	N
09/07/28 23:16	Order	日本225種株価指数	-	システム	-10	9990	-	N
09/07/27 16:08	Order	日本225種株価指数	-	ウェブ	+10	10090	9990	N

## 口座残高画面

お客様が口座残高や財政状況を常に確認することができるように、口座概要を取引画面の上部に常時表示することができます。

- 証拠金残高: お客様がご利用いただける取引資金の合計を示します。
- 未実現損益額: お客様が取引中のポジションに対する現在の損益を示します。
- 維持証拠金額: お客様が現在の取引にご利用いただいている証拠金の合計金額を示します。

お客様の'My Account' ページを開くには、画面上左の小さなインフォメーション(i)のアイコンをクリックして下さい。また、口座残高を非表示にしたい場合は、画面上右のボタンをクリックして下さい。



## ウォッチリスト

ウォッチリストは、お客様が、お取引したい銘柄へ簡単にアクセスできるように、通常CFD取引、ミニCFD取引とバイナリーオプションが事前に設定されています。

もちろんお客様が独自に保存したい銘柄のウォッチリストを作成することもできます。

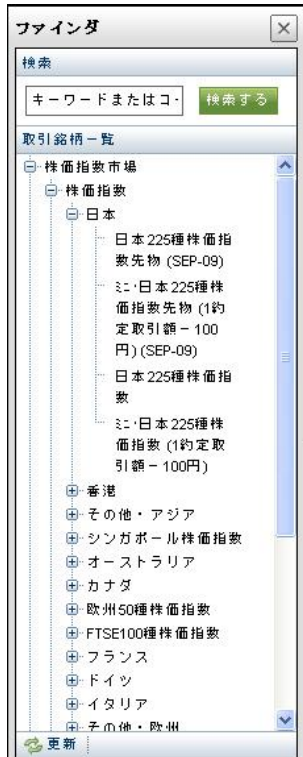
利用したいウォッチリストを開くには、ウォッチリスト内の▽のプルダウンメニューにあるリストからお選び下さい。

お客様のウォッチリストの表示方法は3種類あります：

リスト表示(フォント小)、リスト表示(フォント大)、ペア表示です。表示モードの切替えには表示のプルダウンメニューをご使用下さい。

## ファインダ

特定の銘柄を素早く検索したい場合はファインダをお使い下さい。'ファインダ'のボタンをメニューバーの上部からクリックするとファインダが有効となります。



銘柄はカテゴリ別に分類されています。

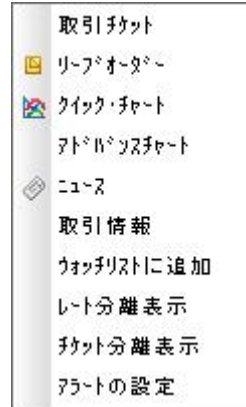
該当するカテゴリをクリックしてお探しの銘柄を検索して下さい。銘柄が見つかったら、▽のプルダウンメニューから様々な取引操作が実行できます。

## ▽プルダウンメニュー



▽のプルダウンメニューは、システムで必要な操作を網羅したツールです。利用中の取引画面によって必要な機能のみ表示されるので、ご利用になっている取引画面によって、可能な操作の種類も変化します。

例えば、お客様がウォッチリスト画面をご利用中で、日本 225 種株価指数の▽プルダウンをクリックすると、ここで操作可能なメニューは、取引チケット、チャート、アラートの設定、ウォッチリストからの銘柄の削除などの機能がご利用可能となります。



よく利用されている▽プルダウンメニューの機能取引チケット：ここから取引チケットが立ち上がります。取引チケットでは、売り・買い注文のロット数を指定したり、ストップ注文・リミット注文を設定したり、両建て(ヘッジ)取引ができるだけでなく、リーブオーダーを出すことも可能です。リーブオーダー：このオプションをクリックすると、取引チケット内の'リーブオーダー'の項目が立ち上がります。リーブオーダー画面では、売り・買いの選択、注文水準の設定、ストップ・リミットの付加、またはイフダン注文の設定などができます。\* イフダン注文についての詳しい説明は、09ページをご参照下さい。

- クイックチャート：このオプションをクリックすると、該当の銘柄のクイックチャートが立ち上がります。
- ニュース：このオプションをクリックすると、該当する取引銘柄に関するロイターニュースの検索および表示画面が立ち上がります。
- 取引情報：このオプションをクリックすると、マーケットデータや約定条件などの情報がご覧になれます。
- ウォッチリストに追加：該当する銘柄をお客様がカスタマイズされたウォッチリストに追加できます。
- レート分離表示：このオプションをクリックすると、該当する銘柄のレートが小さなウィンドウに分離されて表示されます。このウィンドウは画面上どこへでもお好きな場所へ移動可能です。お客様が他の作業をされている間でも、取引銘柄のモニターをすることが可能です。このウィンドウ上から売り・買いの取引チケットを開くこともできます。
- チケット分離表示：このオプションは、レート分離表示を更に高度化した機能といえます。システムを最小化した状態で取引チケットのすべての機能を実行することができます。

お客様が他の作業をされている間でも、マーケットの変動に即座に対応できる理想的な機能です。

- **アラート設定**: 該当する銘柄のアラートを作成できます。お客様が設定されたアラートが起動された際には、システム上にてその旨を通知し、弊社からご指定の電子メールアドレスにお知らせを送信させていただきます。
- **削除**: お客様がカスタマイズされたウォッチリストから該当する銘柄を削除します。
- **ポジションの清算**: お客様の保有ポジションを表示レートにて清算します。
- **ポジションの条件変更**: 保有ポジションに付加された条件付注文の条件変更ができます。例えば、必要な維持証拠金額を軽減したい場合、ストップ水準の変更をここから設定できます。

## » **プライス最適化機能**

プライス最適化機能とは、お客様の取引執行時に、お客様にとって最も有利なプライスを提供する機能です。この機能は、価格変動の激しいマーケットで取引する際に役に立ちます。取引執行時の価格よりも有利となった場合、この価格を約定レートとして自動的に適用します。

# 取引操作方法

ここではシステムの基本操作をご紹介します。

## マーケット注文の出し方

システムでマーケット注文、すなわち、現在のマーケットレートによる売り・買い取引を実行するには、ウォッチリスト、マーケット、ファインダのいずれかの画面から実行するか、もしくはチケット分離表示画面から実行するかです。

### ウォッチリスト・マーケット画面からの取引方法

- ペア表示画面から：お客様が取引されたいロット数を‘取引ロット数’のボックスにご入力の上、売値もしくは買値をクリックして下さい。

10:51:14 ナール街株価指数 - 20 売値 ↓ 9091 安値 9067 買値 ↑ 9097 高値 9113 取引ロット数 <input type="text"/> USD	10:51:14 FTSE100種株価指数 - 15.7 売値 ↓ 4561.2 安値 4537.0 買値 ↑ 4566.2 高値 4571.9 取引ロット数 <input type="text"/> GBP	10:51:14 フランス40種株価指数 - 16.3 売値 ↓ 3379.1 安値 3355.0 買値 ↑ 3385.1 高値 3387.6 取引ロット数 <input type="text"/> EUR
10:51:14 ドイツ30種株価指数 - 30.7 売値 ↓ 5297.7 安値 5262.5 買値 ↑ 5304.7 高値 5307.0 取引ロット数 <input type="text"/> EUR	10:51:26 ロシア中国42種株価指数 - 78 売値 ↓ 20225 安値 20041 買値 ↑ 20245 高値 20329 取引ロット数 <input type="text"/> HKD	10:51:11 韓国200種株価指数 - 0 売値 ↓ 19818 安値 19718 買値 ↑ 19838 高値 19928 取引ロット数 <input type="text"/>
06:30:45 インド50種株価指数 - 1 売値 ↓ 4503 安値 4503 買値 ↑ 4508 高値 4508 取引ロット数 <input type="text"/> USD	10:51:21 日本225種株価指数 - -15 売値 ↓ 10093 安値 10004 買値 ↑ 10103 高値 10193 取引ロット数 <input type="text"/> JPY	06:30:45 プラティチン指数 AUG-09 - -0.27 売値 ↓ 27.55 安値 27.55 買値 ↑ 27.70 高値 28.40 取引ロット数 <input type="text"/> USD
10:49:20 スポット金 - 1.05 売値 ↓ 930.80 安値 928.55 買値 ↑ 931.30 高値 931.35 取引ロット数 <input type="text"/> 100万円	10:51:26 WTI原油先物 SEP-09 - -28 売値 ↓ 6290 安値 6267 買値 ↑ 6298 高値 6338 取引ロット数 <input type="text"/> USD	

取引が執行されると確認画面が現れ、約定された取引は‘ポジション一覧’画面に表示されます。

- リスト表示画面から: お客様が取引されたい銘柄欄から▽のプルダウンメニューをクリックして、取引チケットを起動して下さい。

この画面においても、お客様が取引されたい銘柄の取引ロット数を入力し、売値もしくは買値をクリックするだけで取引が実行できます。取引チケット内からお客様の注文にストップ・リミットを追加したり\*、同一銘柄の反対取引が清算とならないように両建て(ヘッジ)設定をすることもできます。また、該当取引に必要な維持証拠金額を確認することもできます。

\*ストップ・リミットについての詳しいご説明は10ページを、両建て(ヘッジ)の設定については、13ページを、維持証拠金額の確認は12ページをご参照下さい。

### レート・チケット分離表示画面からの取引方法

レート・チケット分離表示画面を使うと、個々の銘柄を取引画面の背景に表示させることができるため、お客様が他の作業をされている間でも、常にマーケットの値動きを確認することができます。

ご希望のプライスが確認できたら、‘買値’または‘売値’をクリックするだけで、取引チケット画面に移行され、通常と同様に取引が実行されます。



## ポジションの清算方法

既存の取引ポジションを清算するには、‘ポジション一覧’画面から、該当する銘柄をクリックし、取引チケット画面を起動します。

例えば、お客様が特定の銘柄において1ロット以上のポジションを保有されている場合、すべてのポジションの清算もしくはポジションの部分清算のどちらかを選ぶことができます。

保有ポジションの部分清算をするには、‘清算取引数’のボックスに表示されている取引ロット数から、お客様がご希望の清算取引ロット数に変更して下さい。‘未実現損益額’のボックスには、お客様がこの取引ロット数を現在のマーケットレートにて清算した場合に発生する損益額が表示されます。

清算するロット数が正しく入力された後は、該当する銘柄の保有ポジションが買いの場合は‘売値’ボタンを、売りの場合は‘買値’ボタンをクリックして下さい。



## リーブオーダーの発注方法

リーブオーダーを使うと、お客様がご指定のレートにてご希望の銘柄の新規ポジションを建てる注文を出すことができます。

リーブオーダーの発注方法には、▽のプルダウンメニューから行う方法と、チャート直接取引から行う方法があります。チャート直接取引の使用方法についての詳しいご説明は09ページをご覧ください。

▽のプルダウンメニューを使ったリーブオーダーの発注方法お客様が取引されたい銘柄の'矢印 プルダウンメニュー'からリーブオーダーを選択します。

- '注文水準'のボックスにご希望の発注レートを入力します。(指定レートが現在のマーケットレートより高いか安い、また、お客様の取引が買いか売りかにより、取引タイプを表示するボックスにはストップ注文もしくはリミット注文が表示されます。)
- '有効期限'のボックスでは、注文がいつまで有効であるか指定して頂きます。'キャンセルするまで有効(GTC) '(注文は、執行されるか、お客様によりキャンセルされるまでは常に有効) を選択、もしくは '...まで有効' と、日時を指定することもできます。
- '送信'をクリックして下さい。注文は、'未決オーダー'画面に表示されます。注文が執行されると、ポジション一覧画面に移動します。

## 条件付注文(イフダン注文)

お客様は新規ポジションの注文の執行を条件に、当該ポジションを清算するためのストップ・リミット注文を付加することも出来ます。リーブオーダーが執行された場合に、お客様が希望されるストップまたはリミット(もしくは両方)の値幅(ポイント数)を指定して下さい。リーブオーダーにイフダン注文を付加するためには、通常通りにリーブオーダーを作成します。'送信'ボタンをクリックする前に、'ストップ'または'リミット'もしくは両方のボックスに

ご希望のイフダン条件をお客様の約定レートからの値幅でご入力下さい。イフダン注文の条件内容が正しいことをご確認の後、'送信'ボタンをクリックして下さい。お客様の注文内容は'未決オーダー'画面に現れます。

## チャート直接取引

弊社のチャート直接取引技術により、チャートから直接、リーブオーダーを出すことができます。システムは単純明快で、お客様は注文や保有ポジションをビジュアル化することができます。

この機能の有効化:チャート直接取引をご利用いただくには、本機能を取引環境設定ページから有効にする必要があります。

各種設定ページはMy Accountからアクセスできます。

ご利用規約に同意して頂くと、次回より、チャート直接取引機能を起動すると、本機能をご利用いただけます。

### DealThru Charts

通常どおりに、リアルタイムチャートを起動してから、モニターされたい銘柄を見つけたら(チャートの使い方についての詳しい情報はリアルタイムチャート起動後のIT Charts画面の'ヘルプ'メニューからヘルプマニュアルをご覧ください)、該当する銘柄をチャート上にて起動させます。チャート上の右角に、注文タイプのプルダウンメニュー、'ストップ・リミット'ボタン、'斜線トリガー'のボタンがあります。



### 'ポイントアンドクリック'を使った注文方法

チャート上の右角にあるプルダウンメニューを使ってお客様の注文タイプ(ストップ・リミット注文は事前設定機能としてご利用になれます)を選び、'ストップ・リミット'ボタンをクリックして、お客様の取引カーソルを有効にします。

カーソルをチャートに移動すると、線(買値は緑、売値は赤で表示)が現れます。お客様のご希望のレート上でクリックしてから取引ロット数を入力します。お客様によるこの注文の認証が終わり次第、ご注文はシステム上の未決オーダー画面に現れます。

現在のマーケットレートにて取引されたい場合は、マーケット注文を選択して下さい。お客様の取引数をご入力後、売値または買値をクリックすると取引が執行できます。約定したポジションはシステム上のポジション一覧画面に現れます。

## チャート直接取引チケットを使った注文方法

チャートプログラム内にてアップ(緑)もしくはダウン(赤)のボタンを探して下さい。これらの矢印は銘柄が参照できる場所であればどこでも現れます。また、チャートの左上でも確認することができます。

これらの矢印をクリックすると、システムの取引チケットと類似した注文チケットが立ち上がります。このチケットに入力することで新規ポジションの保有時のストップ・リミット注文を出すか、マーケット注文にするかななどの設定ができ、注文の有効期限も指定することができます。

## チャート直接取引を使った注文の条件変更方法

注文がチャート直接取引機能を使って発注されたか否かに関係なく、チャート直接取引を使って発注条件を変更できます。該当銘柄に関するお客様のすべての既存注文は、その商品のチャート上に表示されます。

注文の条件内容を変更すると、変更内容は即座にシステム画面およびチャート上に反映されます。

- 注文水準の変更: チャート上で注文水準の変更をするには、該当する線上で右クリックし、'注文の移動'をクリックします。そしてお客様のカーソルを移動してからご希望のレート上でクリックして下さい。
- 取引ロット数の変更: 注文数の変更をするには、該当する線上で右クリックし、'注文の変更'を選びます。ポップアップウィンドウが現れ、この画面にてお客様の取引ロット数の変更ができます。
- 注文内容のコピー: 同一チャート上における同一の銘柄の取引を繰り返したい場合は、注文線上で右クリックをし、'注文のコピー'を選択して下さい。その後、新規注文の水準を変更することができます。
- 注文の削除: 注文を削除するには、注文線上で右クリックしてから'削除'を選んで下さい。

## お客様独自の注文タイプの追加方法

お客様は独自の注文タイプをプルダウンメニューに追加することができます。この注文タイプにはプルダウンメニューの隣に見えるスパナのアイコンをクリックすることにより事前に設定された注文ロット数などを付加することができます。

注文テンプレート

口座: DD0B6190B8DA35A0

新規注文テンプレートの作成

名前: Limit to Open

ポジション:

- 買い
- 売り
- 自動買い/売り

取引数:

- 未定義
- 取引数

タイプ:

- 自動リミット/ストップ
- リミット
- ストップ
- マーケットレート

有効期限:

- 期限なし
- 2009/07/30

この注文テンプレートを削除する

閉じる

ここではお客様は注文タイプのパラメータを選択し、注文名の変更をすることができます。



## ストップ・リミットの付加

新規のポジションにストップ注文およびリミット注文を付加するには、該当する銘柄の▽のプルダウンメニューから、'取引チケット'にアクセスして下さい。お客様の取引されたいロット数を指定したら、取引チケットの下段から新規ポジションにストップ・リミットを付加することができます。

有効期限 (現在: 09/07/30 11:47)

GTC  日時

ストップ・リミット注文

ストップ° 70 ポイントの値幅 (Min: 6)

キャラクターストップ°

リミット [ ] ポイントの値幅

証拠金額

GBP £ 120.00

JPY ¥ 18,680

削除 キャンセル 送信

ストップ注文を出すには、'ストップ'のボックスにお客様の約定レートからご希望の清算レートまでのストップ幅をピップ数にて指定して下さい。お客様は取引注文にストップを付加すると、ポジション保有に必要な証拠金額が劇的に軽減することに気がつくでしょう。必要な維持証拠金についてさらに詳しく参照するには12ページをご覧ください。

リミット注文を出すには、ストップ注文と操作は同様ですが'リミット'のボックスにお客様の約定レートからご希望の清算レートまでのリミット幅をピップ数にて指定して下さい。既存のポジションにストップおよびリミットを付加するには、'ポジション一覧'画面から▼のプルダウンメニューからポジションの条件変更へアクセスします。\*ポジションの条件変更についての詳しいご説明は12ページをご覧ください。



## ギランティーストップ

ギランティーストップを使うと、マーケットがお客様に不利に変動した場合に確実にリスクを限定します。スリッページ（次項を参照）が発生した場合でも、ギランティーストップを使えば、お客様のポジションはどんなにマーケットが激しく変動しても、お客様のご指定のレートにて確実に清算されます。ギランティーストップを付加するには割増スプレッドがお客様の約定レートに加算されます。この割増スプレッドは絶対リスク保護の保証料（プレミアム）となります。

ストップ注文の付加する時と同様に、ギランティーストップを設定すると必要な維持証拠金額を軽減することができます。新規ポジションにギランティーストップを付加するには、取引チケットにアクセスの上、'ギランティーストップ'ボックスにチェックを入れて下さい。該当ボックスにチェックが入ると、約定レートからお客様がストップを設定すべき最低値幅がピップ数にて再表示されます。ご希望のギランティーストップの値幅を'ストップ'ボックスにご入力の上、通常取引と同様に'売値'または'買値'をクリックします。



## スリッページ回避方法

ストップ注文のほとんどのケースで、注文執行時にわずかながら'スリッページ'のリスクが存在します。例えば、変動が激しい原市場において相場が急落し、お客様のストップ水準を突き抜けて変動した場合、お客様のポジションは(お客様ご指定のストップレートに限らず)弊社が提供できるその時点で最も良いレートで清算されることとなります。弊社が提供できるその時点で最も良いレートとお客様の実際のストップレートの乖離値をスリッページと呼んでいます。

スリッページは常に発生する訳ではなく、マーケットのボラティリティーに起因して発生することをご了承下さい。

ギランティーストップを使うと、お客様はポジションをスリッページのリスクから守ることができます。



## トレーリングストップの使い方

トレーリングストップを使うと、マーケットのボラティリティーからお客様を保護する一方で、利益をもたらしているポジションを自動的に追従することができます。そのため、お客様は保有ポジションを常時確認したり、マーケットがお客様に有利に変動した際にストップ値を自ら変更する必要がなくなります。

トレーリングストップの設定方法: この機能を使うためには、まずお客様の口座にてトレーリングストップを有効にする必要があります。トレーリングストップの有効にはMy Account画面にアクセスし、'各種設定'ページから'取引環境設定'のボタンをクリックの上、'トレーリングストップを有効にする'を選択して下さい。

トレーリングストップの使い方: トレーリングストップを新規ポジションに付加するには、該当する銘柄の取引チケットを開いて下さい。

トレーリングストップをご利用になる際には、以下の2点をご考慮いただく必要があります:

- 1) ストップレートとマーケットレートの間で維持される値幅
- 2) お客様のストップレートがマーケットレートを追従する際のストップ値

まず、'ストップ'ボックスに、トレーリングストップがマーケットレートの追従をする際の値幅をご入力下さい。

例:20ポイント

この入力ボックスの下に、'トレーリング'と呼ばれるボックスがあります。このボックスをクリックすると'ステップ'ボックスが現れます。ここで、お客様はストップレートのステップ幅をご指定下さい。例えば、お客様がこのボックスに20と入力したとします。マーケットレートがお客様に有利な方向に

20ポイント変動する毎にお客様のストップレートは20ポイント移動します。

お客様が設定したトレーリングストップの条件を確認したら、売値または買値をクリックして下さい。お客様の取引はポジション一覧画面に表示されます。

ストップ注文の発注方法 10 ページをご覧ください。

## >> レバレッジ

本取引システムで取引する最大の利点の一つはポジションにストップ注文を付加することで高いレバレッジが設定できる点です。

例えばスポット・金のポジションを保有するのに必要な標準維持証拠金は総取引金額のわずか3%です。お客様が仮にスポット・金を1ロット(取引額:単位にして100トロイオンス相当)の買い取引の注文を買値930ドルで出したとすると、お客様の標準維持証拠金は2,790ドルとなります。これはレバレッジ率にすると約33倍になります。

一方で、お客様のレバレッジを、ストップ注文を使うことによって増大することも可能です。お客様は事実上リスクを限定しているため、お客様の必要な維持証拠金額も軽減されます。そして、お客様が約定レートに近いストップ値を設定すればするほど、レバレッジ率は増大します。

## >> 保有ポジションにおける維持証拠金の軽減方法

### 金の軽減方法

マーケットはお客様に不利に変動することがあり、お客様のポジションを保有するために追加入金が必要になる場合があります。しかしながら、追加入金をせずにポジションを保有する方法があります。それはストップを付加したり、ストップ値を移動することで必要な維持証拠金を軽減する方法です。

## >> 保有ポジションの条件変更

保有ポジションに付加された条件付注文の条件を変更するには、'ポジション一覧'画面の該当する銘柄をクリックして取引チケットへアクセスし、'条件変更'のタブを選びます。(▽のプルダウンメニュー)からも同様に操作可能です。

ここからストップおよびリミットを付加したり、既存のストップ・リミット値を変更したりすることができます。'ストップ'および'リミット'のボックスに変更したい数値を入力の上、'送信'をクリックするだけで変更が可能です。

## >> 両建て(ヘッジ)

マーケットレートにて注文を出すと、取引は自動的に反対取引を相殺清算します。しかし、お客様が'両建て(ヘッジ)'ボックスにチェックを入れていると、この相殺清算がされずに、既存のポジションの条件内容に関係なく、注文は新規ポジションとして執行されます。

例えば、お客様が以前に1ロットの日本225種株価指数の買いポジションを建て、マーケットレートにより1ロットの日本225種株価指数の売り取引をしたとすると、お客様のポジションは清算され、損益が確定されます。一方で、1ロットの売り取引の際、'両建て(ヘッジ)'ボックスをチェックしていた場合、お客様の損益はその時点では確定せず、反対ポジションを保有することとなります。すなわち買いポジションを1ロット、売りポジションを1ロット保有することになり、お客様は損益確定のタイミングを柔軟に設定できるようになります。

### 両建て(ヘッジ)の設定方法

両建て(ヘッジ)注文をするには、注文を出す際に'両建て(ヘッジ)'ボックスをチェックするだけです。

両建て(ヘッジ)注文をするには、取引チケットにアクセスする必要があります。取引チケットにアクセスするには▽のプルダウンメニューボタンをクリックして下さい。

注文毎に取引チケットへの入力内容が送信されると、その注文は'ポジション一覧'画面に表示します。

### 両建て(ヘッジ)の注意点

なお、両建て(ヘッジ)は下記のようなデメリットがあり、経済合理性を欠く恐れがありますので、積極的にお勧めするものではありません。

1. 資金調達コスト、および配当金相当額のお支払いにより、証拠金残高が減少すること
2. 売値と買値には差があるためスプレッドの差を二重に負担する必要があり総損益がスプレッドの分だけ悪化すること
3. 両建て(ヘッジ)のご注文時に「両建て(ヘッジ)」にチェックが入っていない場合、両建て(ヘッジ)を付加せずに建てた反対売買の保有ポジションが清算されることとなります。
4. 維持証拠金額は銘柄価格によって変動するため、完全に両建て(ヘッジ)していても余剰金額が変動します。特に日本円の入らない銘柄の場合、証拠金有効残高も変動します。

## >> スワップポイント

経済状況が国ごとに異なることにより、短期金利も国によって異なります。あるトレーダーが金利の比較的高い国の通貨を売り、金利の低い国の通貨を買うとすると、保有ポジションに金利を支払うこととなります。これらの保有ポジションに発生するのがスワップポイントです。一方で、このトレーダーが金利の高い通貨を買い、金利の低い通貨を売ると、金利を受取ることとなります。オーバーナイト金利額は、保有するポジションがロールオーバーされる際に算出されます。(冬季日本時間午前7時、夏季午前6時)各通貨ペアのスワップポイントの詳細はウォッチリストの'売りスワップ' および '買いスワップ' 欄 に表示されています。

売りスワップ	買いスワップ
0.021	-0.021

'売りスワップ'欄にはお客様が特定の通貨ペアの売り取引をする場合の適用レートが表示されています。'買いスワップ'欄にはお客様が特定の通貨ペアの買い取引をする場合の適用レートが表示されています。



## アラートの設定

お客様はご希望の銘柄が、お客様が指定した水準に達した際にお客様にお知らせをする、アラートを設定することができます。

このアラート機能は特定の銘柄の取引をしない場合でも、特定の銘柄の相場に興味があるお客様で、指定した価格に達した際に通知を受けたい場合に役に立ちます。

該当する銘柄がお客様指定の水準に達すると、お客様は‘アラート’画面にて通知を受けます。この際、ポップアップ表示によるメッセージ表示及び音声通知を追加することもできます。またアラートが起動されると電子メールにての通知を選ぶこともできます。

アラート設定方法：該当する銘柄名の▽のプルダウンメニュー’から‘アラートの設定’を選択します。

ポップアップ画面でお客様ご希望の売値もしくは買値のアラート起動値を入力の上、必要に応じて独自のメッセージを追加し、‘アラートの設定’をクリックして下さい。有効となったアラートの詳細がアラート画面に表示されます。

‘アラート’画面はお客様が設定されたすべてのアラート設定履歴を保存しています。

アラートの電子メールによる受信：アラートの通知設定をするには‘アラート’画面から ‘各種設定’ボタンをクリックして下さい。電子メールによるアラート通知が弊社にて登録済みのお客様の電子メールアドレスに送信されます。

(送信先電子メールアドレスはMy Accountの‘お客様情報’にて変更できます。

# 取引画面のカスタマイズ

## カスタマイズ設定

システムを起動させると、画面表示はデフォルト設定となっています。チャート直接取引やトレーリングストップ等の様々な機能はMy Accountページの'各種設定'から有効にすることができます。

### ウィンドウを使った表示レイアウトのカスタマイズ

お客様は好きな銘柄を分離表示にて新しいウィンドウに表示させることができます。お客様が興味のあるマーケットだけでなく、'ポジション一覧'画面に表示の取引銘柄でも可能です。

銘柄名からアクセスできる▽のプルダウンメニューが表示されていれば、いつでも'レート分離表示'および'チケット分離表示'を選択することができます。レート分離表示ウィンドウを立ち上げれば、該当する銘柄のライブレートを常に確認でき、チケット分離表示であれば、画面上どこへでも移動できるため、いつでも取引ができます。

日本225種株価指数 (-)

取引 リープオーダー

取引ロット数 3 (Min: 1)

損益通貨 JPY

売値 10093 買値 10103

ストップ・リミット

ストップ  ポイントの値幅 (Min: 15)

キャンセルストップ

トレーリングストップ

リミット  ポイントの値幅

両建て (ヘッジ)

証拠金額

JPY ¥ 225,000

### 表示レイアウトのカスタマイズ

ウォッチリストには、ペア表示、リスト表示(フォント小)、リスト表示(フォント大)の3種類の表示方法があります。

ペア表示ではすべての表示可能な銘柄をマス目状に表示し、リスト表示ではすべてのデータをリスト状表示します。

<p>10:51:14</p> <p>カール街株価指数</p> <p>20</p> <p>売値 9091 買値 9097</p> <p>安値 9067 高値 9113</p> <p>取引ロット数 USD</p>	<p>10:51:14</p> <p>FTSE100種株価指数</p> <p>15.7</p> <p>売値 4561.2 買値 4566.2</p> <p>安値 4537.0 高値 4571.9</p> <p>取引ロット数 GBP</p>	<p>10:51:14</p> <p>ダウ30種株価指数</p> <p>16.3</p> <p>売値 3379.1 買値 3385.1</p> <p>安値 3355.0 高値 3387.6</p> <p>取引ロット数 EUR</p>
<p>10:51:14</p> <p>ドイツ30種株価指数</p> <p>30.7</p> <p>売値 5297.7 買値 5304.7</p> <p>安値 5262.5 高値 5307.0</p> <p>取引ロット数 EUR</p>	<p>10:51:26</p> <p>ロシア中国42種株価指数</p> <p>78</p> <p>売値 20225 買値 20245</p> <p>安値 20041 高値 20329</p> <p>取引ロット数 HKD</p>	<p>10:51:11</p> <p>韓国200種株価指数</p> <p>0</p> <p>売値 19818 買値 19838</p> <p>安値 19718 高値 19928</p> <p>取引ロット数</p>
<p>06:30:45</p> <p>インド50種株価指数</p> <p>1</p> <p>売値 4503 買値 4508</p> <p>安値 4503 高値 4508</p> <p>取引ロット数 USD</p>	<p>10:51:21</p> <p>日本225種株価指数</p> <p>-15</p> <p>売値 10093 買値 10103</p> <p>安値 10004 高値 10193</p> <p>取引ロット数 JPY</p>	<p>06:30:45</p> <p>ポラリアライズ指数</p> <p>AUG-09</p> <p>-0.27</p> <p>売値 27.55 買値 27.70</p> <p>安値 27.55 高値 28.40</p> <p>取引ロット数 USD</p>
<p>10:49:20</p> <p>スポット金</p> <p>1.05</p> <p>売値 930.80 買値 931.30</p> <p>安値 928.55 高値 931.35</p> <p>取引ロット数 100枚</p>	<p>10:51:26</p> <p>WTI原油先物</p> <p>SEP-09</p> <p>-28</p> <p>売値 6290 買値 6298</p> <p>安値 6267 高値 6338</p> <p>取引ロット数 USD</p>	

# 各種ツール

## チャート

本取引システムでは、お客様のレベルやニーズに応じて自由にお選びいただける2つのチャートをご用意いたしました。

- クイックチャート – シンプルで、カンタン起動のチャートプログラムです。
- リアルタイムチャート– プロ仕様の最高レベルのチャートプログラムです。レベルやニーズに応じたチャートを2種類の中からお選びいただけます。

## クイックチャート

クイックチャートは、シンプルでパワフルな機能を備えています。▽のプルダウンメニューからクイックチャートをクリックして起動します。このチャートは様々なテクニカル分析や注釈オプションを提供しており、基本的なマーケット分析や市場概況に理想的なチャートです。

主要な機能の紹介にはクイックチャートチュートリアルをご参照下さい。個々のチャート機能へアクセスするにはウィンドウの下部の項目をご利用下さい。

- クイックチャートへのアクセス方法: リスト表示からのアクセスは銘柄名の隣にある'クイックチャート'のアイコンをクリックして下さい。



該当する銘柄のチャートを開くにはチャート型のアイコンをクリックして下さい。▽のプルダウンメニューボタンからクイックチャートをクリックしても同様にアクセスできます。ペア表示からのアクセスも同様の操作をして下さい。



## リアルタイムチャート使用上の注意

高機能なプロ仕様チャートが「リアルタイムチャート」です。

通常は、月額4000円(税込)の使用料をいただいておりますが、1か月にわずか2回、お取引いただくだけで、無料にてご利用いただけます。その取引量に制限はございません。例えば、0.1ロットのお取引を建玉・清算していただいた場合も、2回のお取引とカウントされます。

- 月2回以上、常にお取引をされている状況であれば、チャート設定が自動的に無効になったり、月額4000円が課金されることはありません。
- お取引が月に2回未満であった場合は、チャート設定は翌月から無効となりますが、お客様が再び設定を有効としない限り、月額4000円が課金されることはありません。
- チャート設定が無効となった後に、お客様が再度設定を有効にした場合は、設定時(翌月以降は月初)に月額4000円が課金されますが、その後2回以上のお取引があった場合には、当月末に4000円が返金されます。また、設定は有効のまま継続されます。
- チャート設定が無効となった後に、お客様が再度設定を有効にした場合は、設定時(翌月以降は月初)に月額4000円が課金されます。その後2回以上のお取引がなければ、料金が発生しますのでご注意ください。

## リアルタイムチャートの使い方

取引画面上の右上のチャートボタンをクリックすると立ち上がりします。このチャートプログラムは弊社のすべてのプライスのイントラデイおよびヒストリカルレートを、正真正銘のリアルタイムにて提供しており、各種ポートフォリオやリストを作成したり、アラートやバックテスト戦略を設定したりすることもできます。

リアルタイムチャートへのアクセス: 取引画面上の右上の「チャート」ボタンをクリックしてアクセスします。

各種チャートプログラムのご利用方法や主要な機能を解説した、PDF版の総合ガイドをご覧になるには、リアルタイムチャートを起動し、IT Charts画面の「ヘルプ」メニューからヘルプマニュアルを選択して下さい。

## ワンクリック取引

ワンクリック取引を利用すると、お客様はウォッチリスト画面内のペア表示において、取引ロット数を直接入力することができます。

該当する銘柄に取引ロット数を入力したら、売値もしくは買値を一度クリックするだけで注文が直接送信されます。

重要: ワンクリック取引の場合、確認画面が表示されず、キャンセルもできません。ワンクリック取引が有効になっている際は特にご注意ください。

ワンクリック取引を有効にするには、My Accountから各種設定ページへアクセスし、取引環境設定ページにてこの機能の有効を選択して下さい。



## ニュース項目の検索

本取引システムでは、ロイターニュースをライブ更新でご覧いただけます。

ニュース項目を検索するには、取引画面上のニュースボタンをクリックして下さい。

ロイターニュース画面は「検索」セクションとニュース配信セクションの2つに分かれています。



## ニュースコードをご存知の場合

お客様が参照されたい項目のニュースコードをご存知の場合、「ニュースコードで検索」ボタンをクリックし、該当するニュースコードを「検索内容」ボックスに入力してから検索ボタンをクリックするのみで検索が開始されます。

ニュース配信のセクションにはお客様のニュースコードに関連するすべてのニュース項目が表示されます。お客様は右下の角にある「次へ」ボタンを使って次のページにスクロールすることができます。

ニュースコードを使って検索をする際、「言語」ボックスを使ってニュース検索の際の該当する言語を変更することができます。▽のプルダウンメニューをクリックすると各種言語からお好きな言語を選択できます。

## ニュースコードをご存知でない場合

お客様が参照されたいニュース項目のニュースコードをご存知でない場合、以下の2つの検索オプションがあります：

- ニュースコードの検索を選択し、該当するキーワードを「ニュースコード」の検索ボックスに入力し、検索をクリックします。
- 「ヘルプ」ボタンをクリックするとニュースコードの総合インデックスが呼び出されます。ニュースコードはポピュラーコード、FXニュース、地域別ニュースなどの分ごとに分けられています。

この検索方法を使うと、お客様は検索結果をクリックすることで関連項目のニュース記事を参照することができます。

ロイターニュースはシステム内に完全統合されているため、ヘルプページのコード、もしくはニュース項目をクリックすると、ロイターニュースによる関連ニュース項目が表示されます。ニュースコードをクリックすると、関連ニュースが表示され、ニュース項目をクリックするとニュース記事の全文を読むことができます。

